

富士河口湖町立 教育センターだより

No.18

令和2年12月22日

文責 渡辺 富美夫



実りの2学期、 終わる

コロナ禍で例年とは違った2学期でしたが、そんな中でもそれぞれの学校では大きな実りが見られました。



町長さんと語る会



10月28日(月)に児童生徒連絡協議会主催の「町長さんと語る会」が開催されました。今年も町議会議場を会場に町役場の各課の課長さん方が参加して下さり、「子ども議会」という形で行われました。「富士河口湖町をさらに豊かな町にしていくためには」のテーマで各学校から意見が出され、質問に対しては町長さんや各課長さんが答弁してくださいました。町長さんからは「笑顔あふれるまちづくりを進めています。この日の気持ちを忘れずに大人になって、この町に戻ってきてほしい。」とのメッセージをいただきました。また、リーダーとして求められるものについても話してくださいました。

参加した代表児童・生徒の感想

- ・ほかの学校の方や、議員さん、課長さんと町をよくするために全力で話し合いができたことが良かった。
- ・今まで知らなかった政策など、自分たちの住む町についてより深く知ることができて良かった。
- ・町長さんがおっしゃった、リーダーに求められるものが強く印象に残っている。強い意志、判断力、実行力、理解力。これがリーダーに求められるといわれ、この4つの力を僕も身につけたいと思った。
- ・いろいろな質問に対して答える方がたくさんいて、町はみんなで作っているんだなと思った。
- ・私たちは未来の富士河口湖町を担う大切な役割があることを実感しました。今できることをみんなと協力してやっていきたい。
- ・多くの予算をかけ多くの支援がある中で、私たちは楽しい学校生活を送らせてもらっているのだから、将来は町のために何かできる人になりたいと思った。



本物に触れ、音を楽しみ、心豊かに

富士河口湖町音楽活性化事業 子供のための音楽プロジェクト2020



町主催の音楽活性化事業は、「通常音楽ホールでしか聴くことができない生の本物のクラシック音楽を、音楽ホールの領域から一歩出て、学校など身近な会場でミニ演奏会などを行いながら、音楽を通じて地域とふれあ



う交流活動として行う」ものです。今年は、ミハウ・ソブコヴィアクさん=ポーランド・日本在住(河口湖南中,大嵐小,小立小実施)とオマタタツロウさん=富士吉田在住(勝山小,小立小実施)の演奏会が開かれました。ミハウさんの演奏は、ショパンの「夜想曲9-2」「子犬のワルツ」「英雄ポロネーズ」など一度は聴いたことがあるもので、「ピアノの詩人」と言われたショパンの曲を奏でるミハウさんの高い技術と表現力に魅了されました。「森の音楽家・笛詩人」と言われるオマタタツロウさんの演奏は音を作る楽しさであふれていました。リコーダーの音色の美しさと複数本のリコーダーを駆使した演奏に引き込まれるとともに、森に落ちているどんぐり・穴の空いた石ころ・乾燥したイタダリの茎などが楽器になることに驚き、その音色に、自然に包まれたような気持ちになりました。生の音楽の演奏に直接触れ、音楽のすばらしさを心から楽しめ、心豊かになったひとときでした。

